

ANTENNA

第3回全統高2模試

全国52,049名の高2生が参加して実施された第3回全統高2模試の成績結果と学習アドバイスをお届けします。

今回の模試では、高2の10月までの学習内容の総整理と弱点科目・分野の発見、補強を目的として重要項目を扱っています。

「学習の手引き」や本冊子を活用して、誤答箇所を再確認し、成績内容をよく研究してより効果的な学習を進めてください。今の実力に甘んじることなく、早目に目標を定めて着実に学習を重ねていきましょう。

《次回実施のご案内》

次回全統模試のご案内につきましては、こちらをご確認ください。

www.kawai-juku.ac.jp/zento/

スマートフォンの方はこちら



も く じ

| | |
|--------------------|----|
| 《全統模試見直しシート》 | 2 |
| 《これが今回の模試の結果だ》 | |
| 個人成績表の見方 | 3 |
| ・あなたの成績と比較しよう | |
| 総合成績表・科目別成績表 | 5 |
| ・どの設問で差がついたか確認しよう | |
| 教科科目別設問別成績表 | 6 |
| 小問(単位問)別平均点 | 7 |
| 《弱点克服のためにもう一度見直そう》 | |
| 学習対策 | 9 |
| 英語 | 9 |
| 数学 | 9 |
| 国語 | 10 |
| 《採点に関する問い合わせについて》 | 11 |
| 《お問い合わせ先一覧》 | 13 |

※本冊子の編集内容の無断転載・複製を禁止します。

全統模試 見直しシート

STEP 1

個人成績表「1. 成績概況」を確認し、受験した教科・科目と偏差値を書き込みましょう。

STEP 2

個人成績表「2. 設問別成績」の、あなたと同じ学力レベル層や、第1志望校の一段階上の判定者との成績比較で差がついた設問を確認し、弱点となっている分野を書き込みましょう。

STEP 3

弱点分野を中心に、「学習の手引き」や本冊子の「学習対策」、模試ナビの解説講義動画などを確認し、今回の模試の反省点と、今後の具体的な対策（何を、いつまでにやるのか）を書き込みましょう。

STEP 4

個人成績表「3. 志望校別成績・評価」を参考に、次回の模試の目標得点を書き込みましょう。

| STEP 1 | | STEP 2 | STEP 3 | | STEP 4 |
|-----------|------|--------|------------------|-----------------------------------|---------|
| 教科・科目 | 偏差値 | 弱点分野 | 今回の反省点 | 今後の対策 | 次回の目標得点 |
| (例) 英語 | 52.1 | 文法・語法 | 基本的な文法の理解ができていない | 次回の模試までに文法集の11～30ページをノートにまとめて復習する | 55.0 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |



模試ナビ

河合塾 全統模試学習ナビゲーター



模試ナビは、Web上で全統模試の復習や成績確認などができるサービスです

利用料無料



河合塾講師によるわかりやすい解説講義動画が視聴可能！
間違えた問題は必ずチェックして理解を深めよう。



詳しい学習アドバイスやライバルとの差をつける追加問題など、模試ナビだけのコンテンツも多数閲覧できます。

詳しくはこちらから
www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/

個人成績表の見方

各項目について、詳しくは4ページをご確認ください。

1. 成績概況

自分の学力状況や全国での位置づけを確認しましょう

- 各科目の得点や偏差値、順位、平均点などを表示しています。

| 教科・科目 | あなたの得点 | 偏差値 | 学力レベル | 平均点 | 順位(人中) | 平均点 | 順位(全国偏差値による) | 偏差値 | 平均点 | 順位(全国偏差値による) |
|---------|-----------|------|-------|------|----------------|------|--------------|------|------|--------------|
| 英語 英語 | 129 / 200 | 70.0 | S | 69.0 | 4893 / 144624 | 68.8 | 247 / 2859 | 74.1 | 66.0 | 7 / 284 |
| 総合 | 123 / 200 | 64.2 | A | 78.2 | 11646 / 136281 | 78.6 | 555 / 2859 | 58.9 | 87.5 | 59 / 283 |
| 数学 必経問題 | 39 / 50 | 63.3 | A | 64.2 | 12200 / 136281 | 64.3 | 816 / 2859 | 55.4 | 71.4 | 90 / 283 |
| 選択問題 | 34 / 50 | 71.3 | S | 14.0 | 4400 / 135038 | 14.0 | 101 / 2815 | 67.0 | 16.2 | 9 / 281 |

全統高2模試 個人成績表 第1面【秘】

| 教科・科目 | あなたの得点 | 偏差値 | 学力レベル | 平均点 | 順位(人中) | 平均点 | 順位(全国偏差値による) | 偏差値 | 平均点 | 順位(全国偏差値による) |
|---------|-----------|------|-------|------|----------------|------|--------------|------|------|--------------|
| 英語 英語 | 129 / 200 | 70.0 | S | 69.0 | 4893 / 144624 | 68.8 | 247 / 2859 | 74.1 | 66.0 | 7 / 284 |
| 総合 | 123 / 200 | 64.2 | A | 78.2 | 11646 / 136281 | 78.6 | 555 / 2859 | 58.9 | 87.5 | 59 / 283 |
| 数学 必経問題 | 39 / 50 | 63.3 | A | 64.2 | 12200 / 136281 | 64.3 | 816 / 2859 | 55.4 | 71.4 | 90 / 283 |
| 選択問題 | 34 / 50 | 71.3 | S | 14.0 | 4400 / 135038 | 14.0 | 101 / 2815 | 67.0 | 16.2 | 9 / 281 |

全統高2模試 個人成績表 第2面【秘】

個人成績表の見方については ANTEENNA(成績統計資料)をご覧ください。

【志望校別評価の意味】

A: この調子で頑張れば合格圏内
 B: もうひとふんばりで合格圏内
 C: これからの努力次第、弱点を克服しましょう
 D: まだまだ努力が必要、頑張りましょう
 E: 志望大学に向けて、まず基本事項の総復習を行いましょう
 H: 教科不足による国立大参考評価

3. 志望校別成績・評価

志望校までの距離やライバルの中での位置づけを確認しましょう

- 志望大学・学部・学科の総志望者の中での、あなたの位置づけを示しています。
- 評価では、学習到達度の度合いを下の5段階で表示しています。

A: この調子で頑張れば合格圏内 D: まだまだ努力が必要、頑張りましょう
 B: もうひとふんばりで合格圏内 E: 志望大学へ向けて、まず基本事項の総復習を行いましょう
 C: これからの努力次第、弱点を克服しましょう H: 教科不足による国立大参考評価

全統高2模試 個人成績表 第2面【秘】

5 学力要素別成績

| 学力要素区分 | あなたの得点率(%) | 全国平均得点率(%) | 校内平均得点率(%) | 平均得点率の差(%) | あなたと同じ学力レベル層との比較 |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------------|
| 英語 知識・技能 | 61.7 | 36.6 | 31.4 | 54.7 | 7.0 |
| 英語 思考力・判断力 | 62.6 | 40.3 | 32.5 | 65.2 | -2.6 |
| 英語 表現力 | 75.0 | 46.1 | 36.8 | 72.0 | 0.0 |
| 数学 知識・技能 | 52.7 | 53.9 | 58.2 | 56.9 | -4.2 |
| 数学 思考力・判断力 | 78.3 | 59.9 | 62.4 | 63.2 | -15.1 |
| 数学 表現力 | 100.0 | 58.4 | 64.8 | 59.4 | 40.6 |
| 国語 知識・技能 | 48.0 | 41.6 | 38.4 | 50.0 | -2.1 |
| 国語 思考力・判断力 | 71.8 | 56.5 | 55.1 | 66.6 | 5.2 |
| 国語 表現力 | 39.3 | 32.3 | 29.7 | 39.2 | 0.1 |

成績を確認したら、弱分野やライバルと差がかった問題を中心に、しっかりと復習しましょう!

ANTEENNA(成績統計資料)
 過去結果をもとめた各問題のポイントや学習アドバイスなど、弱分野に役立つ情報が満載です。試験後の復習に活用してください。

模試ナビ(河合塾 全統模試学習ナビゲーター) 利用料無料
 スマートフォンやタブレット、パソコンで全統模試の復習や成績確認などができるサービスです。

河合塾模試によるわかりやすい解説動画も視聴可能! 今回の模試で出題された問題を繰り返し見直し、弱点を克服するためのヒントが満載です。

個人成績や差集、得意科目も「ANTEENNA」も閲覧可能! いつでも、どこでも、復習のポイントを確認することができます。

次回に向けて...
 模試ナビでは、次回の模試の目標設定や、模試受験後の自己採点をすることができます。入力した情報と成績結果との比較もできますので、振り返りや自己分析にも役立ちます。

模試ナビの情報の詳細や登録方法はこちらから!
www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/

河合塾大学入試情報サイトKei-Netでは、すぐに役立つ入試情報・大学情報を提供中!

大学検索システム
 学部学科や取得可能な資格、偏差値などから大学を探せます!

オープンキャンパス情報
 オープンキャンパスで見るべきことや、各大学の開催情報を確認できます。

先輩の声
 現役大学生の先輩たちが、学習法やキャンパスライフの様子を紹介しています!

Webで検索して、すぐアクセス!
www.keinet.net.jp クリック

2. 設問別成績

分野ごとの成績や、どの分野でライバルと差がかったのかを確認しましょう

- 各科目の設問別の成績や、成績を基にした学習アドバイスを表示しています。
- あなたと同じ学力レベル層(S~Fレベル)の平均点とあなたの得点を比較して、最も良かった設問に○、悪かった設問に▲を表示しています。
- 第1志望について、あなたの評価より一段階上の判定者との成績比較を表示しています。

4. 成績推移

学習成果の長期的な推移を確認しましょう

- 本年度の第1~3回全統高2模試・全統記述高2模試の成績推移を表示しています。

5. 学力要素別成績

どの学力要素でライバルとの差がかったのか、自身の弱点を確認しましょう

- 教科別・学力要素別の得点率と、全国や校内の平均得点率を表示しています。
- あなたと同じ学力レベル層(S~Fレベル)の平均得点率と、あなたの得点率を比較できるように表示しています。

5 学力要素別成績 要素の説明

| 回 | 偏差値 | 30 | 40 | 50 | 60 | 70 |
|--------|------|----|----|----|----|----|
| 1 (5月) | 57.1 | | | | | |
| 2 (8月) | 64.2 | | | | | |
| 3 (月) | | | | | | |
| 記述(月) | | | | | | |

個人成績表の見方<注釈>

1. 成績概況

■学カレベルの定義は以下の通りです。

| | |
|---------------------|---------------------|
| S : 偏差値 65.0 以上 | D : 偏差値 45.0 ~ 49.9 |
| A : 偏差値 60.0 ~ 64.9 | E : 偏差値 40.0 ~ 44.9 |
| B : 偏差値 55.0 ~ 59.9 | F : 偏差値 40.0 未満 |
| C : 偏差値 50.0 ~ 54.9 | |

■総合1は、1型：英数型、2型：英国型、3型：英数国型の各受験型の母集団での位置づけを示します。「偏差値」は、全受験科目の偏差値の平均値です。

■総合2は、文系または理系別の位置づけを示します。理系・文系の区分けは英数国型生は受験届のマークによります。また英数型生は理系、英国型生は文系とします。成績は、理系は英・数、文系は英・国の偏差値の平均値を用い、それぞれの全受験者の中での順位および平均点を表示しています。

■校内成績欄の母集団は、在籍高校です。偏差値は母集団が20名以上の場合のみ表示しています。

※校内順位は全国偏差値をもとに順位づけしています。

2. 設問別成績

■第1志望校の一段階上の判定者との成績比較とは、例えばあなたがC判定であれば、B判定者の平均点との比較になります（A判定の場合はA判定者の平均点との比較になります）。母集団は国公立大は出願予定者、私立大は総志望者です。一段階上の判定者が一人もいない場合は表示されません。

3. 志望校別成績・評価

■「学部・学科内の順位」では、志望大学・学部・学科の総志望者の中での、あなたの位置づけを示します。

■「評価偏差値」

国公立大については、英・数・国の3教科の偏差値の平均値を使用しています。

ただし、3教科受験していない場合でも、2教科を受験していれば、参考として「H」を付して評価を行います。ただし、順位は表示されません。

私立大・短期大については、学科内容から文・理分けを行い、理系は英・数、文系は英・国の偏差値の平均値を使用します。

ただし、上記の教科を受験していない場合でも、2教科を受験していれば、参考として評価を行います。

※1教科しか受験していない場合は、評価は行わず順位も表示されません。

■「評価」では、志望大学に合格するために必要な学力がどのくらい身につけているのかの、学習到達度の度合いの「評価」を、以下の5段階で表示しています。

| |
|---------------------------------|
| A : この調子で頑張れば合格圏内 |
| B : もうひとふんばりで合格圏内 |
| C : これからの努力次第、弱点を克服しましょう |
| D : まだまだ努力が必要、頑張りましょう |
| E : 志望大学へ向けて、まずは基本事項の総復習を行きましょう |
| H : 教科不足による国公立大参考評価 |

詳しくはこちらの該当模試のページからご確認ください。
www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/



4. 成績推移

■本年度の第1～3回全統高2模試・全統記述高2模試の各教科・英数国の総合成績の偏差値を棒グラフで表示しています。学力伸長度・学習成果の長期的な変化を確認できます。今後の学習対策に役立ててください。

5. 学力要素別成績

■今回の模試で出題された各問題が主にどんな学力を問うているのかを、学力を「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」の3要素に分類し学力要素ごとの成績（得点率）を表示しています。選択問題が出題されている場合は、選択パターンごとに集計しています。

◆総合成績表 受験者総数 52,049名

英数（理系）、英国（文系）は、文理別の全受験者を母集団としています。

| | 配点 | 平均点 | 標準偏差 | 平均偏差値 | 最高点 | 最低点 | 人数 |
|------|-----|-------|-------|-------|-----|-----|-------|
| 英数型 | 400 | 147.4 | ----- | 47.9 | 343 | 13 | 2040 |
| 英国型 | 400 | 149.4 | ----- | 47.7 | 328 | 0 | 5636 |
| 英数国型 | 600 | 249.9 | ----- | 50.3 | 550 | 0 | 44225 |
| 英数 | 400 | 176.2 | ----- | 51.6 | 389 | 0 | 27517 |
| 英国 | 400 | 162.0 | ----- | 49.8 | 348 | 0 | 24384 |

※全国の受験者の中での位置を教科・科目別／志望別に確認できる「教科科目別成績順位表」「受験型別総合偏差値順位表」や、選択した志望校以外の大学・学部・学科の二次試験・一般試験の合格可能性が確認できる「合格可能性評価基準一覧」を河合塾ホームページに掲載しています。
www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/

スマートフォンの方は
こちら



◆科目別成績表

この模試に何人参加し、平均点はどれくらいであったのか、自分の成績は平均点よりどれほど差があったのか、また最高点はどれくらいあったのかを教科・科目別に読みとれます。自分の結果と照らし合わせ、攻略すべき教科・科目を確認してください。

| | 配点 | 平均点 | 標準偏差 | 平均偏差値 | 最高点 | 最低点 | 人数 |
|------|-----|------|------|-------|-----|-----|-------|
| 英語 | 200 | 79.3 | 35.0 | 50.0 | 194 | 0 | 51959 |
| 数学 | 200 | 83.6 | 41.9 | 50.0 | 200 | 0 | 46323 |
| 数学必須 | 150 | 67.3 | 32.8 | 50.0 | 150 | 0 | 46323 |
| 数学選択 | 50 | 16.5 | 11.3 | 50.0 | 50 | 0 | 45609 |
| 国語 | 200 | 84.4 | 28.2 | 50.0 | 177 | 0 | 49914 |
| 現代文 | 110 | 47.0 | 15.7 | 50.0 | 105 | 0 | 49914 |
| 古文 | 50 | 21.4 | 9.9 | 50.0 | 50 | 0 | 49914 |
| 漢文 | 40 | 16.0 | 9.0 | 50.0 | 39 | 0 | 49914 |

◆教科科目別設問別成績表

設問ごとの平均点はどれくらいであったか、自分の成績と比べ、平均点との差に注目してください。
その結果から、弱点分野を確認し、今後の学習に役立ててください。

英 語

| 設問 | 設 問 内 容 | 配点 | 平均点 全 体 | 標 準 偏 差 | 最高点 | 最低点 | 人 数 全 体 |
|------|----------------|-----|------------|------------|-----|-----|------------|
| トータル | | 200 | 79.3 | 35.0 | 194 | 0 | 51959 |
| 1 | リスニング | 31 | 9.3 | 5.9 | 31 | 0 | 51959 |
| 2 | 単語・イディオム | 20 | 6.9 | 4.0 | 20 | 0 | 51959 |
| 3 | 文法・語法 | 26 | 11.9 | 4.8 | 26 | 0 | 51959 |
| 4 | 英作文（整序作文・和文英訳） | 29 | 8.4 | 5.7 | 28 | 0 | 51959 |
| 5 | 長文総合Ⅰ | 54 | 22.0 | 12.9 | 54 | 0 | 51959 |
| 6 | 長文総合Ⅱ | 40 | 20.8 | 10.6 | 40 | 0 | 51959 |

国 語

| 設問 | 設 問 内 容 | 配点 | 平均点 全 体 | 標 準 偏 差 | 最高点 | 最低点 | 人 数 全 体 |
|------|-----------------|-----|------------|------------|-----|-----|------------|
| トータル | | 200 | 84.4 | 28.2 | 177 | 0 | 49914 |
| 1 | 現代文「評論」の読解と内容把握 | 60 | 28.7 | 9.5 | 57 | 0 | 49914 |
| 2 | 現代文「随筆」の読解と内容把握 | 50 | 18.3 | 9.2 | 50 | 0 | 49914 |
| 3 | 古文「物語」の読解と内容把握 | 50 | 21.4 | 9.9 | 50 | 0 | 49914 |
| 4 | 漢文「漢詩」の読解と内容把握 | 40 | 16.0 | 9.0 | 39 | 0 | 49914 |

数 学 *数学の①・②・③は、必須問題です。④・⑤・⑥は、選択問題です。

| 設問 | 設 問 内 容 | 配点 | 平均点 全 体 | 標 準 偏 差 | 最高点 | 最低点 | 人 数 全 体 |
|------|-----------------|-----|------------|------------|-----|-----|------------|
| トータル | | 200 | 83.6 | 41.9 | 200 | 0 | 46323 |
| 1 | 数学Ⅰ・A・Ⅱの小問集合 | 40 | 26.8 | 9.9 | 40 | 0 | 46323 |
| 2 | 多項式の除法、確率 | 60 | 24.0 | 17.8 | 60 | 0 | 46323 |
| 3 | 図形と方程式（円と直線、軌跡） | 50 | 16.6 | 10.2 | 50 | 0 | 46323 |
| 4 | 三角関数の応用 | 50 | 16.0 | 12.2 | 50 | 0 | 14728 |
| 5 | 3次関数の微分法の応用 | 50 | 20.5 | 10.1 | 50 | 0 | 15127 |
| 6 | 数列（漸化式） | 50 | 13.2 | 10.4 | 50 | 0 | 15754 |

小問（単位問）別平均点＜英 語＞

| 英 語 | | 受験者数： 51959 人 | | | | | | | | | | | | | |
|---------|----------------|---------------|------|--------|----------|-----|------|--------|-----|-----|---|---|--|--|--|
| 設問 No. | 設問内容 | 配点 | 平均点 | 小問No. | 配点 | 平均点 | 知識技能 | 思考力判断力 | 表現力 | | | | | | |
| 1 | リスニング | 31 | 9.3 | 1.A.1 | 4 | 0.5 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 1.A.2 | 3 | 1.0 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 1.A.3 | 3 | 0.2 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 1.B.1 | 3 | 1.5 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 1.B.2 | 3 | 1.7 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 1.B.3 | 3 | 1.0 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 1.C.1 | 4 | 1.5 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 1.C.2 | 4 | 0.6 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 1.C.3 | 4 | 1.3 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 2 | 単語・イディオム | 20 | 6.9 | 2.A.1 | 2 | 0.8 | ○ | | | | |
| | | | | | | | | 2.A.2 | 2 | 0.9 | ○ | | | | |
| | | | | | | | | 2.A.3 | 2 | 1.0 | ○ | | | | |
| 2.A.4 | 2 | 0.8 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 2.A.5 | 2 | 1.6 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 2.A.6 | 2 | 1.0 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 2.B.1 | 2 | 0.2 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 2.B.2 | 2 | 0.2 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 2.B.3 | 2 | 0.2 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 2.B.4 | 2 | 0.3 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 文法・語法 | 26 | 11.9 | | | | | 3.A.1 | 2 | 1.0 | ○ | | | | |
| | | | | | | | | 3.A.2 | 2 | 0.8 | ○ | | | | |
| | | | | 3.A.3 | 2 | 0.5 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 3.A.4 | 2 | 1.4 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 3.A.5 | 2 | 1.2 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 3.A.6 | 2 | 1.1 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 3.A.7 | 2 | 0.9 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 3.A.8 | 2 | 0.5 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 3.A.9 | 2 | 1.2 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 3.A.10 | 2 | 1.4 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 3.B.1 | 3 | 1.4 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 3.B.2 | 3 | 0.6 | ○ | | | | | | | | |
| 4 | 英作文（整序作文・和文英訳） | 29 | 8.4 | 4.A.1 | 4 | 2.6 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 4.A.2 | 4 | 1.8 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 4.A.3 | 4 | 1.4 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 4.A.4 | 4 | 0.4 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 4.B.1 | 5 | 0.9 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 4.B.2 | 8 | 1.4 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 5 | 長文総合 I | 54 | 22.0 | 5.問1 | 3 | 2.0 | | ○ | | | |
| | | | | | | | | 5.問2 | 10 | 5.3 | ○ | | | | |
| 5.問3 | 3 | 0.9 | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 5.問4 | 3 | 1.5 | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 5.問5 | 10 | 3.7 | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 5.問6 | 10 | 2.4 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 5.問7 | 4 | 2.5 | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 5.問8(A) | 5 | 2.0 | | | | | | | ○ | | | | | | |
| 5.問8(B) | 6 | 1.8 | | | | ○ | | | | | | | | | |
| 6 | 長文総合 II | 40 | 20.8 | 6.問1.1 | 6 | 3.2 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 6.問1.2 | 6 | 3.1 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 6.問1.3 | 6 | 3.7 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 6.問1.4 | 6 | 2.7 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 6.問1.5 | 6 | 3.1 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 6.問2 | 10 | 5.0 | | ○ | | | | | | | |

小問（単位問）別平均点＜数 学＞

| 数 学 | | 受験者数： 46323 人 | | | | | | | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|-----------|----|------|------|--------|-----|---|--|
| 設問 No. | 設問内容 | 配点 | 平均点 | 小問No. | 配点 | 平均点 | 知識技能 | 思考力判断力 | 表現力 | | |
| 1 | 数学Ⅰ・A・Ⅱの小問集合 | 40 | 26.8 | 1(1) | 5 | 3.7 | ○ | | | | |
| | | | | 1(2) | 5 | 3.8 | ○ | | | | |
| | | | | 1(3) | 5 | 3.6 | ○ | | | | |
| | | | | 1(4)ア | 5 | 4.8 | ○ | | | | |
| | | | | 1(4)イ | 5 | 2.6 | ○ | | | | |
| | | | | 1(5)ウエ | 5 | 1.9 | ○ | | | | |
| | | | | 1(6) | 5 | 2.7 | ○ | | | | |
| 1(7) | 5 | 3.5 | ○ | | | | | | | | |
| 2 | 多項式の除法、確率 | 60 | 24.0 | 21 | 9 | 5.6 | ○ | | | | |
| | | | | 2[1](2) | 10 | 2.6 | | | ○ | | |
| | | | | 2[1](3) | 11 | 2.4 | | | ○ | | |
| | | | | 2[2](1) | 6 | 4.8 | | | | ○ | |
| | | | | 22i | 12 | 5.8 | ○ | | | | |
| | | | | 22ii | 12 | 2.7 | | | | ○ | |
| 3 | 図形と方程式（円と直線、軌跡） | 50 | 16.6 | 3(1) | 8 | 7.0 | ○ | | | | |
| | | | | 3(2) | 6 | 4.4 | ○ | | | | |
| | | | | 3(3) | 10 | 3.0 | ○ | | | | |
| | | | | 3(4)(i) | 10 | 1.7 | | | ○ | | |
| | | | | 3(4)(ii) | 16 | 0.4 | | | ○ | ○ | |
| 4 | 三角関数の応用 | 50 | 16.0 | 4(1) | 8 | 5.7 | ○ | | | | |
| | | | | 4(2) | 8 | 4.2 | ○ | | | | |
| | | | | 4(3)(i) | 8 | 3.9 | | | ○ | | |
| | | | | 4(3)(ii) | 10 | 1.6 | | | ○ | | |
| | | | | 4(3)(iii) | 16 | 0.6 | | | ○ | ○ | |
| 5 | 3次関数の微分法の応用 | 50 | 20.5 | 5(1) | 12 | 11.0 | ○ | | | | |
| | | | | 5(2) | 8 | 5.1 | ○ | | | | |
| | | | | 5(3) | 10 | 3.5 | | | ○ | | |
| | | | | 5(4) | 20 | 0.9 | | | ○ | | |
| 6 | 数列（漸化式） | 50 | 13.2 | 6(1) | 8 | 6.4 | ○ | | | | |
| | | | | 6(2) | 14 | 5.0 | ○ | | | | |
| | | | | 6(3) | 12 | 1.5 | | | ○ | | |
| | | | | 6(4) | 16 | 0.3 | | | ○ | | |

小問（単位問）別平均点＜国 語＞

| 国 語 | | 受験者数： 49914 人 | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|------------|-----------------|-----|------|----------|-----|-----|---|--|--|--|--|
| 設問 No. | 設問内容 | 配点 | 平均点 | 小問No. | 配点 | 平均点 | 知識技能 | 思考力判断力 | 表現力 | | | | | | |
| 1 | 現代文「評論」の読解と内容把握 | 60 | 28.7 | 1.問1.a | 2 | 1.7 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 1.問1.b | 2 | 0.6 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 1.問1.c | 2 | 0.5 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 1.問1.d | 2 | 0.8 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 1.問1.e | 2 | 1.2 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 1.問2 | 8 | 5.4 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 1.問3 | 7 | 2.5 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 1.問4 | 7 | 5.8 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 1.問5 | 16 | 3.3 | | | | | ○ | | | | |
| | | | | 1.問6 | 5 | 2.5 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 1.問7 | 7 | 4.5 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 2 | 現代文「随筆」の読解と内容把握 | 50 | 18.3 | 2.問1.a | 2 | 1.2 | ○ | | | | |
| | | | | | | | | 2.問1.b | 2 | 1.4 | ○ | | | | |
| 2.問1.c | 2 | 0.9 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 2.問1.d | 2 | 1.5 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 2.問2 | 7 | 3.5 | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 2.問3 | 7 | 3.9 | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 2.問4 | 16 | 2.5 | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 2.問5 | 5 | 1.4 | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 2.問6 | 7 | 2.0 | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 3 | 古文「物語」の読解と内容把握 | 50 | 21.4 | | | | | 3.問1(1)a | 1 | 0.5 | ○ | | | | |
| | | | | 3.問1(1)b | 1 | 0.7 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 3.問1(1)c | 1 | 0.7 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 3.問1(2)a.上 | 1 | 0.8 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 3.問1(2)a.下 | 1 | 0.7 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 3.問1(2)b.上 | 1 | 0.7 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 3.問1(2)b.下 | 1 | 0.4 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 3.問1(2)c.上 | 1 | 0.7 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 3.問1(2)c.下 | 1 | 0.6 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 3.問2.1 | 2 | 0.8 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 3.問2.4 | 2 | 0.7 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 3.問2.6 | 4 | 1.5 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 3.問3 | 6 | 3.0 | | ○ | | | ○ | | | | |
| | | | | 3.問4 | 7 | 3.5 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | 3.問5(1) | 2 | 1.0 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 3.問5(2)B | 2 | 1.8 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 3.問5(2)C | 2 | 1.4 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 3.問6 | 12 | 1.5 | | ○ | | | ○ | | | | |
| | | | | 3.問7 | 2 | 0.5 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 4 | 漢文「漢詩」の読解と内容把握 | 40 | 16.0 | 4.問1.ア | 2 | 0.9 | ○ | | | | |
| 4.問1.イ | 2 | 0.2 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 4.問1.ウ | 2 | 1.4 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 4.問2 | 7 | 4.8 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 4.問3 | 6 | 2.6 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 4.問4 | 5 | 3.1 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 4.問5 | 6 | 1.6 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 4.問6 | 10 | 1.3 | | ○ | | | ○ | | | | | | | | |

学習対策

ここでは教科・科目ごとにポイントとなる問題を取り上げ、その問題の概要と正解を導くために必要な力についてコメントをしています。今後の学習のアドバイス等も記してありますので、自分が受験した教科・科目を確認して復習に役立てましょう。

なお設問別アドバイス、採点基準、学力要素一覧表は、模試ナビ(河合塾 全統模試学習ナビゲーター)に掲載していますので、確認をしてください。

英語

文法理解には使い方だけでなく伝わる意味も押さえよう！

第2問 単語・イディオム

単語の漠然とした意味ではなくニュアンスの違いを確認する問題。

語い問題では、語いの意味を覚えるだけではなく、意味合いの違い、ニュアンスの違いを認識することが重要である。単語の問題 A3で確認してみよう。

3. There used to be an admission () for our city art museum, but it is free at present.

ア. cost イ. fare ウ. fee エ. price

選択肢はすべて名詞なので、空所には名詞が入るとわかる。問題文は「私たちの市の美術館には以前入場()があったが、現在は無料だ」という意味で、空所には「料」すなわち「料金」という意味の単語が入ると考えられる。costには「費用」、fareには「運賃」、priceには「価格」という意味があるが、「料金」という意味はない。feeには admission feeで「(入場料などの)料金」という意味があり、文意が通じる。

このように、日本語では同じような意味を持つ単語でも、意味合いの違い、ニュアンスの違いが存在することが多く、どの単語を使うかで、伝わる意味が異なることに注意したい。辞書に記されている単語のニュアンスの違いの説明を読んでみることを習慣にしよう。

第4問 整序作文・和文英訳

文法の用法の違いによるニュアンスの違いを確認する問題。

先行詞が地名や人名などの固有名詞の場合は、通例、先行詞は唯一無二の存在とみなし、非制限用法の関係詞を用いる。

設問の和文を正確に英文にするには、文法を正しく用いることが重要である。和文英訳の問題 B1で確認してみよう。

「ノーベル文学賞(the Nobel Prize in Literature)を受賞した川端康成は、新聞記者として働いたこともある。【Kawabata Yasunariで始めて、関係詞を用いること】」

設問の条件に従い「ノーベル文学賞を受賞した川端康成」は関係詞を用いることで「ノーベル文学賞を受賞した」が「川端康成」を修飾し、和文の主部を表すことができる。しかし、制限用法の関係代名詞を用いて、Kawabata Yasunari who won the Nobel Prize in Literature とすると、文意が不自然になる。制限用法の関係代名詞は、先行詞である名詞が他にも存在するニュアンスを有するからだ。Kawabata Yasunari who won the Nobel Prize in Literature は、「(世の中に複数いるカワバタ・ヤスナリのうち)ノーベル文学賞を受賞したカワバタ・ヤスナリ」というニュアンスになってしまう。一方、非制限用法の関係詞節の先行詞は「唯一無二の存在である」というニュアンスを有する。したがって、Kawabata Yasunari, who won the Nobel Prize in Literature, とすることで川端康成は唯一の存在となる。このように、関係詞は用法が異なることで伝わる意味が変わってくることに注意したい。

数学

基本事項を確認し、思考力も養おう

第1問 数学Ⅰ・A・Ⅱ 小問集合

数学Ⅰ・A・Ⅱの基本事項

数学Ⅰ・A・Ⅱの各分野の基本事項を問う小問であったため、すべての小問で正解してほしかったが、いくつかの小問で出来があまりよくなかったのがあった。出題された小問は、大問において前半の設問として出題される可能性もあるため、数学の成績を伸長・安定させるための第一歩として、すべての分野で穴の無いように基本事項を確認し、小問集合を高い割合で正解できる学力を身に付けるようにしてほしい。(2)は $(2x+3y)^4$ を二項定理により展開できるように、(3)は組分けの場合の数の求め方を理解するように、それぞれの基本事項を学習の手引きで確認しておこう。(4)の与えられたデータの分散は、共通テストの数学Ⅰ、数学Ⅰ・Aでも出題される可能性があるので、分散の求め方を定着させる意味でも「データの分析」分野の基本事項は確認しておいてほしい。さらに、(6)の指数法則を利用して方程式の解を求められるように、(7)の論理は数学の解答を書くために必要な内容なので確認しておいて欲しい。

第2問[1] 数学Ⅱ 式と証明・複素数と方程式 多項式の除法(余りを求める)

(1)の多項式 $P(x)$ を1次式で割ったときの余りの条件から $P(1)$ 、 $P(2)$ 、 $P(-1)$ の値を求められていない答案が想定よりも多かった。(1)を正解している答案で、(2)の「 $P(x)$ を $(x-1)(x-2)$ で割ったときの余りを求める」際に、 $P(x)$ に次数を勝手に2次や3次と決めて考えている答案が散見された。具体的に与えられていない多項式 $P(x)$ を x の多項式で割る際の考え方を身に付けておいてほしい。(2)を正しく考えて正解できている答案は(3)も正しく考えられていた。多項式の除法に関する問題は入試でも出題されているので、剰余の定理や多項式の除法に関する基本はしっかり確認して、本問のような典型レベルの問題を正しく考えて解答できるように復習しておいてほしい。

国語

【現代文】

問五

思考力や記述力を問う問題

この設問は、〈近代文明が魅力のないものになった理由〉を〈近代文明のありように即して〉記述することが問われている。この設問を難しくしている要因は、設問の要求・条件が二段階となっていること、そしてそれに適合する本文中の解答要素が特定の段落・箇所集中しておらず、全体の論旨を踏まえながら広く本文を見ていかねばならないことである。また、解答の要素が比較的多いため、解答要素を整合させることが難しいのも要因の一つであったかもしれない。

第3回目ということもあり、やや難度の高い問題設定とすることで、諸君の学力の伸長に期待を込める意味合いも込めつつ出題したが、結果だけ見ればかなり苦労したようである。本文を再読し、『学習の手引き』も活用するなどして、この問題の解答導出の過程を理解し、この模試の復習の締めくくりとしてほしい。

問四

思考力や記述力を問う問題

この設問では、「物語の世界をあらしめる」ためにどういうことが必要かが問われている。本文は、民話などの物語が現実とどのように関わりを持っているかを論じたもので、諸君には馴染みの薄いものでもあり読解自体に苦労したとも思われる。とはいえ、そのような状況にあってもなんとかして「物語の世界をあらしめる」ための条件を読み取る姿勢を持って粘り強く本文を読んでいけば、6段落以降の記述が重要な内容であることに気づけたはずである。すなわち、物語が現実とかけ離れた荒唐無稽なものとしてではなく、〈今ここの生きてきた出来事として体験される〉ことが「物語の世界をあらしめる」ために必要なことであり、また、そのためには〈語り手と聞き手の活発な相互作用〉が成立していなければならない、という趣旨を読み取ることもそう困難ではなかったはずである。時間に追われていたという事情もわかるが、何も満点を狙って書く必要はないのであって、限られた時間の中で得点できるものは得点するという「要領」も試験においては重要であることを意識してほしい。

【古文】

問二・問六

敬語の理解と人物関係を把握する問題

第三回の主題は敬語だが、各回通して出題し、得点源となる現代語訳についても言及しておく。今回は、第三回という時期でもあり、前回よりはやや難しい語句も問うてみた。ただ、さほど難しくはない傍線部6「え書きも続け給はぬ」が予想以上にできていなかった。高2のこの時期の達成度としては心もとない。単語や語法学習の強化で他の受験者に差をつけられるという意識は重要である。主題の敬語だが、直接それを問うた問一の得点率と、問六の記述説明問題の得点率が連動しているのは興味深い。問六の傍線部に含まれる「奉る」や、説明の際にふまえるべき該当箇所の「帝の御心に違はで候ひ給へ」などの敬語から、人物関係を正確に理解しなければならない。問一で正答率の高い受験者は、それらの敬語にまつわる表現を正しく読み取って、説明問題の解答にも積極的に取りくめている様相が見られた。敬語は人物関係を正しく把握するための語法となる。また、心情説明の理解については、傍線部だけにとらわれず、そこに至る経緯もふまえる必要がある。問六ではその点に不足のある答案が多く見られた。

【漢文】

問六

理由説明の問題

問六は、郭功甫が負けを認めた理由として、龍太初がどのような経緯で詩を作ったのかを具体的に答える必要があった。答案の中には、「龍太初が優れた詩をすぐに作ったから」という基本的な理由は書けていても、詩の具体的な内容となる「王安石が指定した通りの『砂』という主題の詩」を書いていないものが多かった。また、主題を指定した人物を取り違えたり、そもそも「砂」について詠んだ詩であることを示さない答案も目についた。漢文の理由説明の問題は、傍線部の直接的な理由だけを答えれば良いというものではない。正確な答案を作るには、解答欄の大きさや字数制限を考慮しながら、直接の理由を補足する具体的な内容を答案に盛り込むことが大切である。それには、主語や指示語の内容・省略されている語に注意を払いながら文章の展開を的確に読み取らなければならない、そのためには重要語や句形の知識を身につけることが大切である。これらの点に心がけて答案を作る練習を重ねてほしい。

「採点に関する問い合わせ」について

このたびは、第3回全統高2模試を受験していただきありがとうございました。
 答案・個人成績表を見直した結果、今回の採点や得点に関して疑問や質問がある場合は、
 以下の手順に従ってお問い合わせください。

①送付先

右の問い合わせ用紙に記入し、13ページに記載されている河合塾の営業部あてに、郵送にてお送りください。なお、河合塾生(塾生として申し込んだ高校グリーンコース生)の方は、所属校舎へご提出ください。

②問い合わせ用紙の記入方法

太枠内をすべて記入してください。問い合わせ内容は、記入例を参考に以下の事項を記入してください。

- 科目名、大問・設問番号
 - 内容に該当する項目(A～Eの記号を選択)
 - 問い合わせ内容記入欄に、具体的な内容を補足
- * 科目や項目が複数ある場合は、それぞれについて問題番号と内容を記入してください。
 * なお、志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

③提出していただくもの

- 「採点に関する問い合わせ用紙」
 (提出前に必要事項にもれがないか、内容が具体的に記入してあるかを再度確認してください。)
 - 「個人成績表」
 (コピーでもかまいません。)
- * ただし、Web返却対象者は必要ありません。

上記2点を同封し、封筒の表に朱書きにて「第3回全統高2模試 採点に関する問い合わせ用紙在中」と明記してお送りください。

- * 答案については提出不要です。ただし、解答用紙番号をもとに河合塾にて答案データ照合を行いますので、**お問い合わせ箇所と内容について、具体的に記入してください。**
 (不明点がある場合、確認のためにご連絡する場合があります。)
 なお、お問い合わせ箇所をより正確に指摘するため、答案(コピー)に明示し、添付されてもかまいません。

④送付締切日

12月14日(土)到着分まで受け付けいたします。

⑤返送日

回答は、1月15日(水)頃発送の予定です。

【個人情報の取り扱いについて】

- 問い合わせ用紙に記入された個人情報は厳重に取り扱い、適正な個人情報の管理を実施します。
- 利用目的
 - 成績処理および成績返却
 - 個人を特定できない方法による統計資料の作成

「採点に関する問い合わせ用紙」の記入・提出方法についてご不明な点は模試受付センターへお問い合わせください。

*河合塾生(塾生として申し込んだ高校グリーンコース生)の方は、所属校舎にお問い合わせください。

模試受付センター(12:00～19:30 日曜、祝日および12/31～1/3は受付を行いません。)

0120-977-558

*模試受付センターでは、正確な応対と対応品質向上のため、通話内容を録音させていただいております。

2024年度 第3回全統高2模試 採点に関する問い合わせ用紙

*太枠内をすべてご記入ください。

提出日 月 日

| | | | | | |
|---------|----------------------------------|--------------|-------|-------|---|
| フリガナ氏名 | | | 受験会場名 | | |
| 受験番号 | | 個人成績表の解答用紙番号 | | | — |
| 高校名 | | クラス名 | | クラス番号 | |
| 住所(連絡先) | 〒 — ※マンション名、部屋番号まで記入してください。 方 | | | | |
| 電話番号 | () — | 携帯電話番号 | () — | | |

*お問い合わせの該当箇所・内容がわかるように、詳細に記入してください。

| 科目名 | 大問 | 設問番号 | 項目 |
|----------|-----|------|----|
| (例) 数学 口 | [5] | [2] | B |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

- ←該当する項目(A～E)を左に記入してください。
- A: 正答が×になっている。
 - B: 部分点が正しく与えられていない。
 - C: 採点されていない箇所がある。
 - D: 成績表の得点が、答案と異なる。
 - E: その他(下記に具体的に記入してください。)
- *志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

【問い合わせ内容記入欄】*上の表に対する補足説明等をできるだけ詳しく記入してください。

(例) 数学 Pの座標が(6, 6)にある確率の説明箇所の部分点が与えられていない。

〔回答欄〕

回答者

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 受付日 | 受付者 | 返却日 | 返却者 |
| | | | |

お問い合わせ先一覧

■模試について

- ①個人でお申し込みの方 河合塾模試受付センター 0120-977-558
②学校を通じてお申し込みの方 河合塾模試受付センター 0120-717-558
③河合塾生の方 [高校グリーンコース生専用フリーダイヤル] 0120-751-577

*河合塾模試受付センター／高校グリーンコース生専用フリーダイヤル（12：00～19：30 日曜、祝日および12/31～1/3は受付を行いません。）

■採点に関する問い合わせ用紙の記入・提出方法について

- ①河合塾生の方 所属校舎
②河合塾生以外の方 河合塾模試受付センター 0120-977-558
www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/



■採点に関する問い合わせ用紙の送付先 受付時間 9：00～17：00（土日祝休み）

- 北海道営業 〒060-0809 札幌市北区北9条西3-3 (河合塾札幌校内) TEL(011)708-8584
【担当地区：北海道】
- 東北営業 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-6-27 (河合塾仙台校内) TEL(022)215-7581
【担当地区：青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島】
- 関東営業 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-67-2 (河合塾大宮校内) TEL(048)647-9581
【担当地区：茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟・富山・長野】
- 首都圏営業 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-2 四谷グローバルスタディスクエア6階 TEL(03)6811-5532
【担当地区：千葉・東京・神奈川・山梨】
- 中部営業 〒464-8610 名古屋市千種区今池2-1-10 (河合塾千種校内) TEL(052)735-1511
【担当地区：岐阜・静岡・愛知・三重】
- 近畿営業 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-13-1 TEL(06)6372-5731
【担当地区：石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・岡山・徳島・香川・高知】
- 中四国営業 〒732-0057 広島市東区二葉の里1-1-50 (河合塾二葉の里オフィス2階) TEL(082)264-4581
【担当地区：島根・広島・山口・愛媛】
- 九州営業 〒810-8619 福岡市中央区渡辺通4-2-11 (河合塾福岡校内) TEL(092)714-5711
【担当地区：福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄】